

企業向け、工場向けの節電商品を開発 簡単操作、低価格、有線方式による 確実な計測を実現

GAIA

くめナビ jc™!&

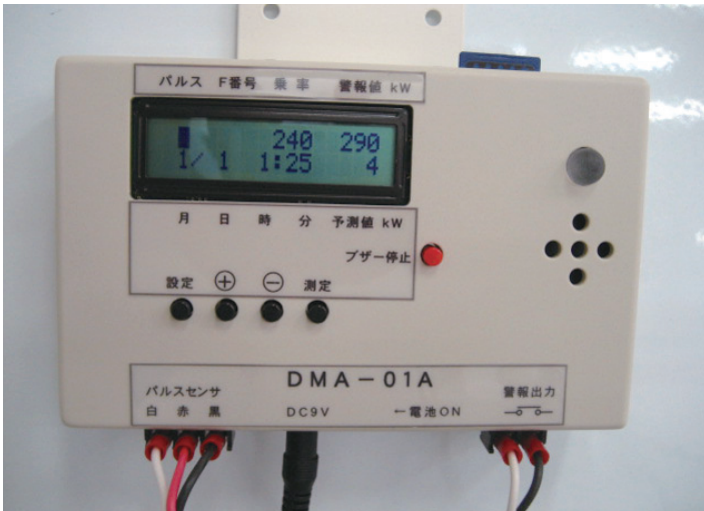
GAIA(相模原市中央区上溝、中根重弥社長、042・758・1714)は、1985年設立以来、プリント基板の設計、基板製作、電子部品の実装、ケース加工、組立を中心に事業を展開してきた。

同社は、この度、企業や工場向けの画期的な節電商品を開発した。その名も「デマンドアラーム」。商品の開発に至った経緯は、工場ラインにおける制御装置、監視カメラなどを中心に手がけている取引先企業が、昨年の東日本大震災に伴う電力不足により、節電対策に苦勞しているのを見て、「自分に何か出来ることはないか。分かりやすい形で節電を進められないだろうか」。そう思い立ったのがきっかけ。もともと企業や工場は、一般家庭よりも電力の消費が激しい。そこに着目し、①簡単

により同商品と接続し、設定された電力量を超えるとアラームにより知らせてくれる。信号線については100メートルまで延長可能で、電力量計と工場、事務所が離れていても十分取り付けることができる。また、SDカードによりデマンド値を記録し、200日分の使用電力推移を確認できる。取扱説明書については、写真やイラストをページ制限なく使えるCD-ROMを使用。「少しでも分かりやすいものを提供したい」と考えている。震災から1年半たった今でも節電に関する意識は高まる一方だ。同商品が節電への一助となることは間違いない。へ一般小売価格66,150円(税込)〈

②低価格、③有線方式で確実な計測の3つのテーマのもと製作された。商品名にある「デマンド」は、直訳すれば(電力の)需要という意味だが、具体的には、高圧受電しているビルや工場などの30分間の平均使用電力、とりわけ、1カ月の最大の数値のことを「デマンド値」と呼んでいる。

使用方法は簡単。電力量計にパルスセンサを取り付け、信号線



新商品の「デマンドアラーム」。設定値を超えると警報が鳴る